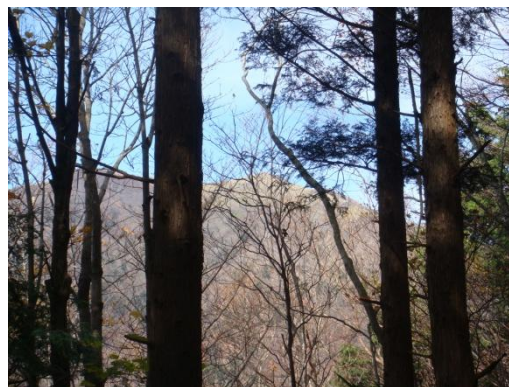


協定企業名	高知工科大学、高知工科大学後援会	
交流行事名	高知工科大学－物部川共生の森 2014	
開催日時	平成 26 年 11 月 8 日（土）9:00～15:00	
開催場所	香美市物部町笹字猪谷	
主な参加者・人数	高知工科大学学生 10 名、教職員 3 名、高知大学学生 1 名 物部森林組合 4 名、香美市 5 名、高知県 1 名	総勢 24 名
概要	間伐体験、物部森林ストックヤード見学	
当日の様子	<p>秋晴れの下、協働の森交流イベント「高知工科大学－物部川共生の森 2014」が開催されました。</p> <p>大学からバスで約 1 時間 30 分、香美市物部町笹の森を目指します。徳島県との境にある矢筈山を望む森です。</p>  <p>開会式の後、早速ヒノキの森に入ります。</p> <p>まずは、森林組合の方より安全講習がありました。チェーンソーの仕組みや切るときの方向など、皆さん真剣に聞いていました。</p> <p>講習の後は、3 班に分かれ、順に森林組合の方から指導を受けながら、まずは受け口を作っていきます。実際に切ってみると水平に切れなかったり、狙った方向に向いていなかったりと苦戦していました。</p> <p>受け口の後は、追い口を作って切り倒します。切っているとヒノキ独特の良い香りに包まれます。</p> <p>ヒノキの 35～40 年生の、高さが 15m 以上もある大きな木が倒れると、地響きと共に班のメンバーから拍手と歓声が出てきていました。</p>  	



開会式の後、早速ヒノキの森に入ります。

まずは、森林組合の方より安全講習がありました。チェーンソーの仕組みや切るときの方向など、皆さん真剣に聞いていました。

講習の後は、3 班に分かれ、順に森林組合の方から指導を受けながら、まずは受け口を作っていきます。実際に切ってみると水平に切れなかったり、狙った方向に向いていなかったりと苦戦していました。

受け口の後は、追い口を作って切り倒します。切っているとヒノキ独特の良い香りに包まれます。

ヒノキの 35～40 年生の、高さが 15m 以上もある大きな木が倒れると、地響きと共に班のメンバーから拍手と歓声が出てきていました。





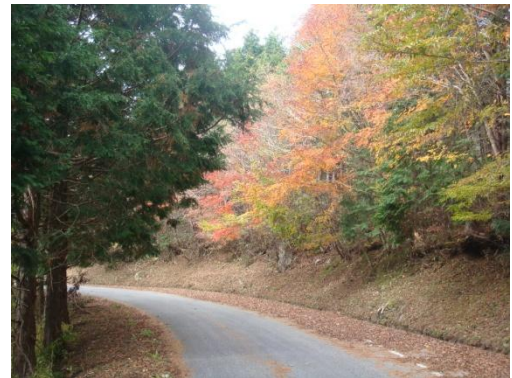
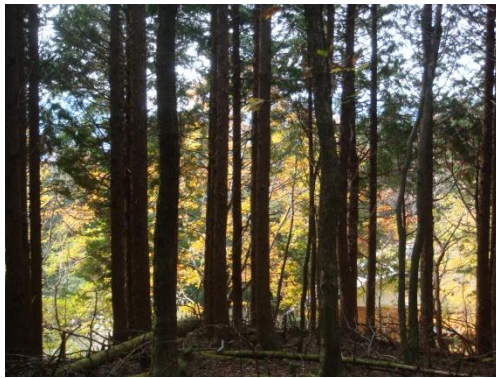
↑ 切り株を輪切りにしたものを
おみやげにいただきました。



↑ ヒノキの実

1時間半ほど間伐をした後、昼食を取り、付近を散策しました。

ここ数日でぐっと気温が下がっており、紅葉も見頃となっていますが、夏の台風の影響か、鮮やかさは今ひとつです。



高知工科大学には、平成20年から協働の森事業に協賛いただいています。

教職員や大学の皆さんは、大学の側を流れる物部川の保全活動や、ボランティアで物部川上流にある三嶺のシカ駆除に参加されるなど、地域の活動にも積極的に取り組んでおられます。

散策の後は、山を下り、物部森林ストックヤードの見学です。

山で切り出した木が、丸太になって市場に並んでいます。今年は原木の搬入量が伸びており、この時期で既に昨年1年と同額の取扱高となっているそうです。



↑ 日本一長い木材の選別機だそうです。



学生の皆さん、1日お疲れさまでした。

これからも物部川流域の自然保護に取り組んでくださいね。